

Rotary



国際ロータリー  
第2620地区

# 御殿場 ロータリー クラブ 週報



御殿場  
ロータリークラブ  
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

## 第2819回 例会プログラム

- 例会場／東山荘記念館 ●開会点鐘／12:30
- ロータリーソング／奉仕の理想
- 内 容／PELS、SELS報告 会長エレクト・幹事エレクト

## 会 員 慶 事

- 結婚記念日／勝又 洋君 泰子様 ご夫妻  
勝又重春君 佳代子様 ご夫妻
- 皆 出 席／3月22日 勝又 厚君(ロータリー歴19年)

## 3/12の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
53名	46名	38名	82.61%	100%

欠席者  
(8名)

池上 司君 梶 喜朗君 鎌野篤志君 柏原大地君  
勝亦敦志君 永木栄太君 鬼形慎太郎君 田代明人君  
※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

## 会 長 挨 拶

豊 山 篤



今回は裾野市に建設されているウーブンシティを簡単に紹介します。

2020年にアメリカのIT見本市 Consumer Electronics Show (CES) で発表され、「Living Laboratory (生活する実験都市)」として世界から注目されています。

ウーブンシティの特徴は、実際に人が住みながら未来技術を試す都市という点であり、実証される主な技術は、自動運転モビリティ・AIやロボットによる生活支援・スマートホーム・センサーによる健康管理・データで都市を最適化するシステム、などだそうです。

もう一つの大きな特徴はエネルギーです。

ウーブンシティは、水素燃料電池、太陽光発電などを組み合わせた脱炭素型都市として設計されており、車だけでなく、建物やインフラも含めて水素を中心としたエネルギー社会を実験する場所でもあります。

また、「Woven (織られた)」という名前には2つの意味があるそうで、

1. トヨタの原点が、豊田佐吉の自動織機にあること。
  2. 道路が、歩行者、自動運転車、小型モビリティなど、用途別の道が織り込まれる構造になっていること。
- このように人・車・データ・エネルギーを織り合わせた都市という意味が込められているそうです。

さらに、ウーブンシティは単なる技術都市ではなく、AIと人間はどう共存するのか・都市はどこまで便利になるのか・技術は人を幸せにするのか、などの未来の「人間の暮らし方」を考える都市なのです。

現在の状況(2026年3月時点)は、2025年9月より順次入居しているトヨタの社員とその家族や、発明家、高齢者、子育て世代など約360人による、生活の中での実証実験が始まっているそうです。まずはその約360人からスタートし、将来的には2,000人規模に拡大する予定だそうです。

ウーブンシティの一般向け見学は、2026年度以降に受入れが開始される予定で、実験都市らしく、見学と言ってもただ話を聞くと言うだけではなく、何かしらの体験を通じた見学会になるのではないかとのことです。

このような施設が近隣に出現することは大変楽しみであり、ぜひ見学をしたいですね。

以上 ウーブン・バイ・トヤマでした。



会長挨拶は  
こちら

## 2/19のメーキャップ

2月14日 北海道Eクラブ 勝又 淳君

2月20日 北海道Eクラブ 神谷高義君

3月2日 北海道Eクラブ 田代明人君

3月5日 北海道Eクラブ 柏原大地君

3月5日 北海道Eクラブ 勝亦敦志君

3月5日 北海道Eクラブ 高橋隆造君

## 3/12のスマイル

齊藤衛君のバルーンに従業員が代わる代わる搭乗させていただきました。みんな大変喜んでおりました。ありがとうございました。豊山徹也君 **ビッグスマイル**



よいことのために  
手を取りあおう

次 回  
4月2日の  
例 会

★名鉄菜館 ★12:30  
★環境月間卓話  
株式会社サンファーム富士小山  
代表取締役 齋藤久哉様

# これぞロータリーの職業奉仕

静岡RC

株式会社田丸屋本店

代表取締役社長

望月啓行君

職業奉仕というのはロータリーの本質と言われますが、なかなか年代によってもしくは人によって解釈が違います。従いまして、趣旨に合った職業奉仕のプレゼンになっているかどうかは正直わかりませんので、そこはご容赦いただきたいと思っております。

題名は「歴史ある地域資源を生かし、職業を通じて地域と持続可能な成長に取り組む」と致しました。

静岡の名産品であり静岡の地域資源であるわさびを取り扱い、150年にわたり代表商品のわさび漬けなどを始め多くの方にご愛顧いただいております。今どのようなことに取り組んでいるか、そしてそのような取り組みの背景にはどのような過程があったかということ、ぜひ皆さんにお話しさせていただきたいと思っております。

わさびがどのようなものか若干説明させていただきます。わさびは日本原産の香辛料であり、実を言うと山椒の1つの品種であり、日本にとっては誇るべき香辛料だということです。

そしてわさびの栽培の発祥地をご存知の方いらっしゃいますでしょうか。静岡市の有東木になります。そのため静岡市民にとって、わさびは誇りを持っているものであり、徳川家康が非常に気に入り、外に出してはいけないというようなことを言ったとも云われております。わさびは世界農業遺産にもなっております。

田丸屋は明治8年創業で私は5代目になります。創業当時はお米が主役であり、お米を美味しくする惣菜をということで保存性が高い漬物、わさび漬けの製造販売を行ったということです。

現在はわさび離れが深刻です。なんと、ある調査で高校生の50%はわさび嫌いであることがわかりました。お米中心

の食生活からパン中心に変化していることも影響しています。そこで私たちはわさび漬けからの脱却が必要ということになりました。わさびの価値は何なのか、企業の価値は何なのか、そして企業の信念は何なのかを問い直すことにしました。

ミッションとパーパスを一度再定義しようということになりました。新たな価値を見出し、商品を通じて食の楽しさを提案していく。地域より世界にわさび食文化を発信して、地域活性化につなげて、地域社会とともに豊かになる。そして、わさびは地域資源で、人と人、企業と企業をつないでいく。そして、わさび食文化をより魅力的なものとして次の世代につないでいく。

わさびから新しい感動というようなことで、わさび漬けからわさびメーカーへ、地域資源であるわさびでわさび漬けを超える商品を作ろうじゃないかということになりました。

田丸屋は現在、

- ①わさびの価値拡大
- ②わさびの価値創造
- ③わさび食文化の情報発信
- ④わさびの持続可能な成長
- ⑤わさびを世界に広げる

の5つにチャレンジしています。

終わりに弊社は創業300年企業を目指そうとしております。でも、ブランドだけでは300年は生きられない。企業の歴史は過去のブランドを作ってもらえるのですが、未来の価値は作ってはいないのです。自分たちが未来の価値を作る。自分たちが未来の地域に貢献する。自分たちが未来の人材を育成する。このような取り組みをすることで300年というものがもしかしたら繋がるのではないかと。

やはり創業100年以上の企業というのは必ず職業奉仕をやっていると思います。いろんな局面があると思いますが、その時にもう一度足元を見直し、その価値を見直せば、地域の皆様に愛され、しいてはそれが長寿企業につながるのではないのでしょうか。そのような思いをいつも持って業務に取り組んでおります。



司会  
高橋隆造君



出席報告  
林 泰博君



ソングリーダー  
大胡田明寿君



会員誕生日  
神谷高義君 勝又敏雄君 勝又 淳君



喜寿お祝い  
神谷高義君

	月 日	時間	会 場	内 容	担当者及び卓話者
2026年 4月 御殿場RC 例会 プログラム	4 / 2 (木) (2820回)	12:30	名鉄菜館	環境月間卓話 株式会社サンファーム富士小山 代表取締役 齋藤久哉様	プログラム委員会
	4 / 8 (水) (2821回)	18:00	御殿場高原ホテル	観桜会(4クラブ合同)	長泉ロータリークラブ
	4 / 16 (木)			特別休会	
	4 / 23 (木) (2822回)	12:30	東山荘記念館	第3回クラブ協議会	会長エレクト・幹事エレクト
	4 / 30 (木)			祝日週休会	

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日  
○例会場・事務局/YMCA 東山荘  
静岡県御殿場市東山1052  
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138  
https://www.gotemba-rc.gr.jp/

会 長 ○ 豊 山 篤  
幹 事 ○ 勝 又 厚  
会報委員長 ○ 勝 又 淳